



# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2015年8月号>

101号 2015.08.03 配信

寝苦しい夜がつづいておりますが、皆様お変わりございませんでしょうか。

秋の涼しさが待ち遠しい今日この頃でございますが、夏風邪などひかぬよう、健康に留意し、暑さを乗りこえていきましょう。

## ■学園たより

- ・昭和女子大学就職率

**2011年から女子大学で5年連続トップ**（2015年3月卒業生の就職率が93.9%）

日本の大学で第9位の実績！女子大学で唯一ベスト10にランクイン！

参照：サンデー毎日（2015年7月26日号）

- ・学園の夏季休暇

同窓会事務局の夏季休暇 8月 6日（木）～ 19日（水）

大学図書館 8月 7日（金）～ 14日（金）

大学キャンパス 8月10日（月）～ 14日（金）は学園一斉休業

- ・オープンキャンパス 8月22日（土）、23日（日）

- ・地区懇談会福岡 8月29日（土） 13:00～15:30 （八百治博多ホテル）

## ■同窓会たより

### ★『ワーキング 秋祭り』のお知らせ

開催日時：平成27年9月26日（土）13:00～15:30 （参加費 1,000円）

「あなたはどのワーキングに参加しますか？」

4つのワーキングが同時に開催します。興味のあるワーキングにご参加ください。

そして、全員で“懇親会”でおしゃべりしましょう～！

（別紙「参加申込書」を添付しています）

## <第一部 分科会 13:00～14:00 >

### ●小学校教職員ワーキングネットワーク

講演：「新しい道徳教育の展望と課題—「特別の教科道徳」を要に学校を生き生きとした人間教育の場にしましょう—」

講師：押谷由夫先生 昭和女子大学大学院教授、現代教育研究所所長

会場：大学1号館2階 2M33

●中学・高等学校教職員ワーキングネットワーク

講演：ワークショップ「協同的な学び合いによる授業研究

—アクティブ・ラーニングの演習をとおして—

講師：後藤文子先生 神奈川県立七里ガ浜高等学校教頭

会場：大学1号館2階 2M34

●ビジネスネットワークワーキングネットワーク

「図書館ツアーとビブリオバトル」

学生時代を思い出して、図書館を訪ねてみませんか？

“ビブリオバトル”ではひとり一冊、本の紹介をします。お気に入りの本。おすすめの本をご持参ください。

会場：図書館3階 グループスタディルーム

●『食』関連 ワーキングネットワーク

講演：「病院の患者さんへの食事提供の工夫」

講師：長嶋 泰子さん(生活科学科 2005年卒)

菊地 裕美さん(食物科学科 1999年卒)

会場：大学2号館2階 2S25

<第二部 合同で懇親会 14:15 ~15:30>

軽食をご用意しています！

会場：大学2号館1階 1階 1L23 (給食実習食堂)

ご参加希望の方は、添付の申込書で **FAX：03-3411-4066**

または、下記のメールアドレスでお申込みください！

**e-mail：working@swu.ac.jp**

申込み締切：2015年9月10日(木)

メルマガ7月号の訂正と図書館ご案内

【訂正】

■『ワーキング秋祭り』のお知らせの文中に

●ビジネスワーキングネットワークで「参加特典として、  
昭和女子大学の図書館カードが作れる」と記載しましたが、

↓

図書館利用証は、卒業生のどなたでも図書館に申請すれば取得出来ます

【図書館のご案内】

図書館が2015年3月30日にリニューアルオープンしました。

3階が知識を創造して変えていく空間、4階が静かに思索する空間となっております。

今までの図書館とは雰囲気が大きく変わりましたので、是非、図書館をご利用下さい。

## ■『広げよう光の葉』

加賀田 真由美さん

1996年 短期大学部英語英文学科卒業

昭和を卒業して、早 20 年が経ちます。

在学中は、多くの友達・恩師に恵まれ、今の私があると感謝しています。また、昭和の卒業生であることを誇りに思っています。大好きな英語は、ごくたまにですが外国の友人とのコミュニケーションの手段として使っています。

卒業後のこの 20 年の間に、埼玉県内の市役所に就職し、結婚し、子供達を 2 人産み育て、躁鬱病を患い、閉鎖病棟への入院を経て、調停離婚をし、親権を失い、病状悪化により仕事を休職しています。今は病状もかなり改善し、ひとり+ウサギ暮らしをしながら復職に向けてリハビリ出勤を行っています。月に一度の子供達との面会交流は残念ながら、この約 1 年 9 か月履行されていません。

「親権を持たぬ母は“母”ではないのか？」このことをテーマとして、子供達に対する愛情を表現し、健常者と障がい者の架け橋になりたいという夢を胸に、希美花という名前で『深夜の菓子パと 25 時』という詩写真集を自費出版しました。この希美花というペンネームは、愛する子供達の名前から一文字ずつと、私の名前を一文字組み合わせたものです。詩はすべて私が綴りましたが、写真は友人のプロの写真家さんに撮影していただきました。ご縁があって印刷界の一流の方達が集結し、本気を出して制作に携わってくださいました。紀伊國屋書店・ジュンク堂・リブロをはじめとして全国各地の書店・インターネットで入手できますので、ご興味がありましたら是非お買い求めください。

今後は、子供達と一緒に生活することを目標に、病気とうまくつきあいながら、市の仕事を全うしたいと考えています。これを機に昭和の方々とも年代や役職などを超えて、様々な方と関わり、いろいろな分野のことを学び吸収を成長していきたいと思っていますので、ご指導くだされば幸いに存じます。

市役所では、高齢者福祉・広報・政策・財産管理・人事の各部門で市民の方々のために尽力させていただいております。もし、私で何かお役に立てることがありましたら、いつでも気軽にご連絡ください。

これからの人脈が、さらにさらに広がって輝かしいものとなりますように……

End